

6月議会議案審議

採決結果

町長提出議案一覧

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
承認第1号	専決(条例)	専決処分の承認について（和水町税条例等の一部を改正する条例）	原案承認
議案第40号	条例	和水町新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金条例の制定について	原案可決
議案第41号	条例	和水町ふれあい会館設置及び管理に関する条例の廃止について	〃
議案第42号	補正予算	令和3年度 和水町一般会計補正予算（第1号）	〃
議案第43号	補正予算	令和3年度 和水町国民健康保険事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第44号	補正予算	令和3年度 和水町介護保険事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第45号	補正予算	令和3年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第46号	補正予算	令和3年度 和水町後期高齢者医療事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第47号	補正予算	令和3年度 和水町病院事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第48号	条例	和水町手数料条例の一部改正について	〃
報告第1号	報告	令和2年度 和水町一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第2号	報告	令和2年度 株式会社 菊水ロマン館の決算報告について	〃

専決：	1件
条例：	3件
補正予算：	6件
その他：	2件
計	12件

陳情等の審査結果

受付番号	受付年月日	件 名	提出者	審査結果	付託委員会
131	令和2年 8月6日	請願書 町道水落線「道路舗装」について	菰田区長 徳永 國広 外4名	継続 審査	厚生建設経済 常任委員会
321	令和3年 2月22日	地積調査による調査結果と現地錯誤 の修正要望書	熊本県玉名郡和水町平野104番地 福山 功	継続 審査	総務文教 常任委員会

6月定例会 賛否一覧表

賛否が分かれた議案だけを掲載
○は賛成 ×は反対 ーは欠席

議 案		議員名	荒木	白木	齊木	坂本	竹下	高木	秋丸	松村	庄山	池田	森	蒲池
			宏太	淳	幸男	敏彦	周三	洋一郎	要一	慶次	忠文	龍之介	潤一郎	恭一
議案第42号	補正予算	令和3年度 和水町一般会計補正予算（第1号）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	※

※議長は可否同数または特別議決の時以外表決に参加しません。

令和3年度 一般会計補正予算

4億3,147万7千円を追加!!

総額 78億789万7千円に増額

令和3年
6月
定例議会
報告

令和3年6月議会定例会は、6月7日から11日までの5日間の会期で開催し、議案10件（専決処分1件、条例3件、補正予算6件）、報告2件が上程され、それぞれ可決、承認された。

なお、熊本県が新型コロナウイルスのまん延防止重点措置の期間中であつたことから、議員と執行部（町長以下説明員）の新型コロナ抗原検査を行い、陰性であることを確認したうえで、議会に臨んだ。また、感染予防の観点から議場での傍聴をご遠慮いただいた。

*主な内容を報告する。

一般会計補正予算では、新型コロナウイルス感染症対策交付金約1億4千3百万円が交付され、感染症対策事業費として約1億9千9百万円が追加された。

その他、学校施設整備基金に約4千万円を積み立てて、将来の学校施設整備に備える。また、道路改良事業に伴う国庫補助金が増額されたことから、町道岩線、町道江田高野線の工事に約5千7百万円が追加された。

その他の事業会計では、新型コロナウイルス感染防止のための備品や機器などの購入費、県補助金の増に伴う事業量の増加、コンピュータシステム改修や人事異動に伴う人件費等が計上された。

一般会計・特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	4億3,147万7千円	78億789万7千円
国民健康保険事業会計	368万8千円	13億3,291万7千円
介護保険事業会計	63万4千円	14億7,620万7千円
特別養護老人ホーム事業会計	3,049万8千円	5億2,681万2千円
後期高齢者医療事業会計	272万2千円	1億8,747万5千円
病院事業会計（収益的＋資本的）	4,620万8千円	10億3,521万9千円

問 町の基幹産業である農業が逼迫しているので対策を問う。

答 (町長) 新型コロナウイルス感染症対策事業として、基幹産業である農業について、3項目の事業予算を補正予算に計上した。

①出荷延期を強いられた畜産農家に対する肉用牛繁殖経営支援交付金事業

②農業基盤の安定化を図るために農業経営継続計画策定推進交付金事業

③農畜産物の流通確保のための流通安全確保支援補助金事業

以上3項目に総額3,260万円を計画している。

新型コロナウイルス感染症の収束までには、時間を要すると思われるので、農業経営基盤の改善に向けた各種施策が必要であると考える。

問 県道玉名立花線、内田く久井原区間と県道竈門・菰田・山鹿線、



江栗地区内



下久井原地区内

江栗区内の道路改良状況を問う。

答 (町長) 県道玉名立花線は、現在内藤橋付近まで改良が進んでいる。内田から久井原の区間は、現在の道路を拡幅するか、別ルートで整備するかを、県において検討されている状況にある。

県道竈門・菰田・山鹿線の江栗区間の道路改良は冠水対策も行つたうえでの改良を要望している。

4月には、県庁で蒲島県知事に面会し住民の思いをしっかりと伝えてきた。

今後も引き続き、機会ある毎に要望をしていく。

問 令和3年度の町政のテーマは何か。

答 (町長) 1定住促進：藤田さくらタウンの入居者推進の取り組み2道路の整備

3特定不妊治療の助成、特老の改修に関する取り組み

問 移住定住相談センターの新設がなされたがどのような成果を期待しているか。

答 (町長) 6月より協力隊3名体制でスタートした。定住促進を図るため都市からいかにわが町に人を呼び込むかということでこの事業をやっている。

問 空き家の実態調査策定からすでにもう半年以上も経っている。実態調査が済めば空き家バンクの対象物件が増える。それを生かし定住促進にどうつなげていくか具体案はあるのか。

答 (まちづくり推進課長) 多くの空き家が見込まれる。空き家バンクの事業を進めていきたい。

問 総合グラウンドの使用がなぜ有料になったか。

答 (教育長) 施設維持管理費の削減が必要。健康づくりはすべての町民の課題でありその課題を解決する手段として整備された施設を使つて健康という価値を得られるわけだから、その対価としての使用料を払っていただくことは必要と考える。

問 ジョギングコースは無料でグラウンド使用は有料それはなぜか。

答 (社会教育課長) ジョギングコースは以前からあった施設でその当時からこの部分は広く町民の方の健康増進のために料金は設けていない。

問 それなら町民の皆さんにわかるように説明すべきであり周知徹底するべきではないか。

答 (社会教育課長) これまで周知徹底を図ってきたと思っている。

提言 有料化に対する住民の反発がある。わずかな使用料を徴収するより、たとえば健康促進の名目で、ふるさと納税などの資金活用で町が負担してはどうか。多くの町民が喜んで自由に気持ちよく使用できる環境にすることが行政の役割だと考える。



坂本 敏彦 議員

・農業に対する新型コロナウィルス感染症対策事業は？

・三加和地区と菊水地区を結ぶ、菊水西校区の県道改良の状況は？



秋丸 要一 議員

・町民に歓迎されるグラウンドを目指すべきだ！

ズバリ!聞きます 一般質問

6月定例会では8名の議員が一般質問を行いました。主な質問事項は次のとおりです。

庄山 忠文 議員 6P
・令和2年7月の災害復旧について

齊木 幸男 議員 7P
・町行財政運営及び取り組みについて
・まちづくり施策について

高木 洋一郎 議員 7P
・学校教育の現状と課題について
・避難所および投票所の運営について

松村 慶次 議員 8P
・防災について
・コロナワクチン接種について
・マイナンバーカードについて

*一般質問の記事は、質問した議員が600字程度に要約したものです。原文を尊重していますが、一部編集しています。
*発言が「～である。」調で記載していますが、質問・答弁は丁寧語で発言されています。
*会議録は町の公式ホームページで閲覧できます。

白木 淳 議員 4P
・和水町総合グラウンドについて
・自殺対策について
・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について

坂本 敏彦 議員 5P
・新型コロナウイルス感染症対策について
・県道6号玉名立花線及び県道315号竈門、菰田、山鹿線の道路改良について

秋丸 要一 議員 5P
・町行財政運営について
・教育、福祉の充実について

竹下 周三 議員 6P
・和水町の行財政について
・和水町の移住定住について



白木 淳 議員

・総合グラウンドの整備と用地交渉を急ぐべき

・熊本県で初めてのシニアカー購入補助事業!!

問 4月3日から和水町総合グラウンドが供用開始されたが、今後の整備計画はどうなっているか。

答 (社会教育課長) 現在ジョギングコース沿いの街灯の設置を進めている。今後、トイレや水飲み場、移動式バックネット、老朽化している倉庫、ナイター照明のLED化などを検討している。

問 第二グラウンドの民地の交渉は進展しているのか。

答 (町長) 地権者の方は土地に対する愛着や思い入れがあり、当初から売却の意思は持っておられないので、難しい交渉となっている。今後も粘り強く交渉に当たる。私もお会いできるタイミングを探っている。

問 現在、借地料はいくら払っているのか。

答 (社会教育課長) 平成24年から令和2年までで、年額25万8,180円の9年間で232万3,620円支払っている。

問 もし町で購入する場合、費用

はいくらか。

答 (社会教育課長) 当時、山の買取価格は、通常1㎡あたり600円のところを1,000円で購入しており、約2反の土地を借用している。600円ならば120万円、1,000円ならば200万円となる。

問 新型コロナウイルス感染症対策高齢者福祉事業の概要とスケジュールを問う。

答 (健康福祉課長) 保険の加入や安全講習会の受講などを条件に、新車のシニアカーの購入に伴う費用を、補助率2分の1以内で15万円を上限に補助する。できるだけ早く町民の皆さんへ周知して、補助金申請できるように準備を進めていく。

問 年度の始まる4月1日まで遡って補助できないか。

答 (健康福祉課長) ほかの事業もある。兼ね合いを調整しながら、令和3年4月1日に基準日を設けたい。



竹下 周三議員

- ・ 地方交付税の
交付の見通しは
- ・ 移住定住政策は万全か

問 国は、新型コロナウイルス感染症対策を莫大な規模で実施している。今後地方交付税の交付に影響があると思われる、本町の財政状況を見て、長期的展望と町長の所見を伺う。

答 (町長) 今後何らかの負担を求められると懸念される。基金を有効に活用する等、見直しを検討しなければならぬと考える。基金に依存した財政運営から脱却する為、既存事業の見直しにも積極的に取り組む。

問 どの部門、どの事業をどの様に見直すのか。町長としてどの様な指示をしているのか、また、これから先、して行かれるのか伺う。

答 (町長) 学校跡地の有効活用、企業誘致、既存公共施設の集約等を完結して、行財政改革を進める。

問 藤田さくらタウンを含めて、本町移住者(入居者)の年齢層等、家族構成は。

答 (まちづくり推進課長) 明確な整理が出来ていない。

提案 子育て世代等、若年層の誘致も考慮しながら努力して頂きたい。

問 三加和地域の町所有地の宅地分譲等の考えはあるか。

答 (町長) 次に春富地区に進めたい思いは有るが、藤田さくらタウンの販売状況等、経過の検証をしてから進めたい。

提言 現在推進中である企業誘致と並行して、若い世代の移住定住に繋がる宅地計画を進めて頂きたい。我々にとつて最優先事項は、地域の元氣を取り戻す事である。

町外居住の町職員の方、本町から巣立つて行つた方、和生生まれの子どもたち、和生町に興味を持って頂いた方々等、一人でも多くの人が楽しく暮らせる魅力ある町にしなければならない。



齊木 幸男議員

- ・ 旧南小体育館に代わる
避難場所「新設」の声がある
- ・ ふるさと納税で大胆な投資を

問 旧南小が建つ靖浦区の公民館は土石流被害の恐れがある。日平・用木・萩原区の公民館は築年数が古く二次被害の恐れがある。高齢者や住民、区長さんは南校区内に避難場所の新設を求めている。

答 (町長) まだ聞いていない。

要望 南校区内に避難場所の新設を求める声は多い。町長に届いたときはぜひ検討をお願いしたい。

問 旧南小の農村広場は住民の努力によって造成され維持管理もされてきた。運動会等の地域コミュニティの場だ。高齢者の方はグラウンドゴルフをされている。売却後は総合(番城)グラウンドや白石堰まで行つて下さいと言われているが、南小までならやつと行けるが、江田までは交通事故の心配もあるし、なかなか行けない。グラウンドゴルフをされている方と一度お話をされてみてはどうか。良いアイデアも浮かぶと思う。

答 (町長) 町の方針はあるが、会うことはやぶさかでない。

■学校跡地活用事業の説明会で公表された人員配置

学校名	事業者	人員配置	雇用方針
東小	(株)山鹿釣具	16名程度	採用優先 新規地を最優先
西小	(有)ミドリ・ワンスホビー	14名程度	
神尾小	(株)Ring	60名程度	
南小	(株)丸美屋(候補者)	35名程度	



庄山 忠文議員

- ・ 令和2年7月の
災害復旧について

問 県道、町道、農道、県河川、町河川、河川の掘削事業、農業災害、治山事業、小災害の進捗状況は。また、災害復旧の今後の計画は。令和3年5月の豪雨によって災害は発生したか。

答 (町長) 昨年12月をもって、国の災害査定が完了して、今年1月より発注を行った。しかし、梅雨入りが早かつた事で工事の進捗管理に苦慮している。復旧の進捗状況は下の表のとおりである。

災害復旧の今後の計画は12月中旬に農業災害を完了し、公共災害は16件が未契約であるため、順次発注し、今年度中に完了する様進めていきたい。5月の豪雨での災害は2件あり、小災害として受付けている。掘削事業については、今年度1、125万円の予算で12月から始めたい。

事業名	件数	契約件数(件)	契約額(万円)	未契約(件)	完了件数(件)	復旧率(%)
県道	5	5	990	4	0	0
町道	38	38	1億3,722	8	0	0
農道	31	31	9,265	0	12	39
県河川	23	23	3億2,297	4	6	22
町河川	34	34	2億7,048	8	9	21
掘削事業	県8・町6	0	0	0	0	0
農業災害	113	113	3億511	0	55	49
治山事業	2	2	989	0	0	45
小災害	249	249	6,507	0	226	93



高木洋一郎議員

- ・ ICT活用の現状は？
- ・ 国立博物館への
修学旅行を提案

問 学校でのICT活用の現状は？

答 (教育長) 全児童生徒にタブレットを配備して、主要教科での画像資料や個人専用の学習ドリルなどに活用している。また、校内でのオンライン(非対面方式)授業の体験学習を検討している。

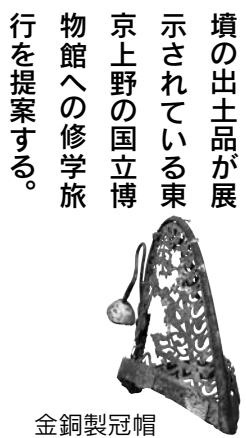
問 こころの相談員に直接アクセスする「いじめ相談ソフト」の導入を提案する。

答 (教育長) 専用アプリを導入したいと考えている。

問 コロナ禍で修学旅行は、計画通りに実施できるのか？

答 (教育長) 菊水中学校は、沖縄を計画していたが、沖縄のコロナ感染状況を勘案して、延期することとした。また、三加和中学校は、関西方面を計画している。

問 江田船山古墳の出土品が展示されている東京上野の国立博物館への修学旅行を提案する。



金銅製冠帽

答 (町長) 町に対する誇り醸成の観点から、是非、国立博物館やオリンピックミュージアムへの修学旅行を教育委員会でも検討してもらいたい。

問 避難所のコロナ感染防止対策は？

答 (町長) 避難者の検温、手指消毒の徹底、健康チェックの基本的対策と三密を避けるためのパーティション(間仕切り)とテントを準備している。また、ウイルス抗原検査も併せて実施を検討している。

新型コロナ対策事業に 約2億円

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（第3次分）1億4,356万4千円が交付され、町の一般財源を加えた1億9,914万9千円の新型コロナ感染症対策事業を実施します。

主な用途は、地域経済の回復と活性化に向けた事業、高齢者や生活困窮者への支援、新型コロナ感染防止対策、移住定住対策など20事業が計画されています。

シニアカー購入補助

外出機会が減少した運転免許のない高齢者の移動支援を行い、外出を促して自立した生活の維持につなげます。



和水町生活応援商品券

町民に商品券を配布して消費活動を促し、コロナ禍で停滞している町経済の回復と地域振興を図ります。



ウイルス抗原検査キット購入

新型コロナ罹患ウイルス感染の有無を短時間で確認して、避難所やイベント参加者の感染の有無確認などに活用します。



ひとり暮らし学生応援支援

アルバイト等が出来ずに生活に困窮している町外に居住する学生の生活を応援します。



その他

農業経営の安定強化対策、町立病院・きくすい荘の感染防止対策、移住定住促進対策など16事業

*詳しくは、町ホームページなどでご確認ください。

ズバリ!聞きます



松村 慶次議員

・災害時の避難所の設置は

問 各小学校の閉校及びコロナ禍での災害時の避難所の設置は。
答 (町長) 各小学校の体育館は避難所として、指定していたが、避難所の見直しをしなければならぬ。代替施設については、6月16日和水町防災会議で審議して決定したい。
問 各行政区の公民館を利用した避難所に対する町の対応は。
答 (総務課長) 区長さんから町へ連絡をして頂き、区で組織している自主防災組織を中心に運営して頂きたい。町からも随時、区長さんと連絡を取り合いながら町からも支援する。
問 昨年の指定避難所の利用状況は。
答 (総務課長) 和水町で8カ所開設した。菊水地区4カ所で最大1日60名の方。三加和地区4カ所で最大1日131名の方が避難された。
問 コロナ禍での避難所対策はどのように計画しているか。

答 (健康福祉課長) コロナ禍による飛沫防止策として4人入れるテント、段ボールの間仕切りセット等で300名対応できる準備をしている。
問 自主防災組織の活動状況について。
答 (総務課長) 本町の自主防災組織は、66行政区全てにあり組織率は100%で梅雨時期には役員間の連絡網の作成、情報伝達訓練をお願いし、自主防災組織の育成強化を図り地区ぐるみで防災力の向上を図っている。
問 64歳以下のコロナワクチン接種について。
答 (健康福祉課長) 8月上旬から接種開始できるように調整している。65歳以上の接種体制のような集団接種方式とはせず、町内の3つの医療機関の施設で実施する個別方式で検討を進めている。町民の皆さんが安心して接種できるように体制を整備したい。

移住定住受け入れ対策を充実

定例議会においても、移住定住に関する一般質問が多くなされました。今回は、まちづくり推進課にお尋ねしました。

取材：竹下 周三

お試し暮らし住宅

なごみ暮らしを体験して頂き、移住定住の促進に努める為、平成29年度から当事業を高野地区でスタートしています。令和3年9月に中林の金栗生家近くに新たに開設の予定です。

【概要(案)】

利用日数：3日以上14日以内
 利用料：1日500円／1棟
 所在地：和水町中林545番地

移住定住支援センター

キャンピングトレーラーを2台活用して、施設として利用します。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、都市部から地方への移住が予想されることから、移住希望者の相談窓口とテレワーク等に対応するサテライトオフィスを令和3年9月をめどに、ロマン館駐車場に開設します。移住定住の相談をはじめ、住まい、しごと、学び等の移住に関連する事項にも対応、定住支援員を配置し運営します。



【主な機能(案)】

- ①移住・定住相談窓口及び移住者相談機能
- ②空き家バンクの登録手続、内覧対応、物件の交渉に係る業務
- ③お試し暮らし住宅に関する業務
- ④結婚活動支援センター業務
- ⑤その他移住定住業務に係る業務
- ⑥まちのPR、観光・イベント等情報発信
- ⑦お客様の休憩スペースとして、一部開放の予定
- ⑧地域おこし協力隊の活動拠点とします